



PRO SOUND誌 2011年12月号

## PROSOUND Review

# 次世代のデジタル・ミキシング・コンソールとは・・・ Soundcraft Si Compact

text by 博多智章

### 営業案内

- スピーカーの近くでも「うるさく無い音」、会場のどこでも「クリアに聞こえる音」、「ハウリングしにくいサウンド」。コンパクトで高品位、明瞭度の高い音響-PAを提供いたします。
- ホスピタリティとPro Audio技術のノウハウにより、音響施設の運用サポート・操作・管理をいたします。
- 数多くのAudio Visualの設備の設計・施工経験を元に、使いやすい、明瞭度のすぐれたシステムを構築いたします。

Sound Solution Company

## ロックドア株式会社

160-0008東京都新宿区三栄町24番地 黒田ビル1F

電話03-5312-6939

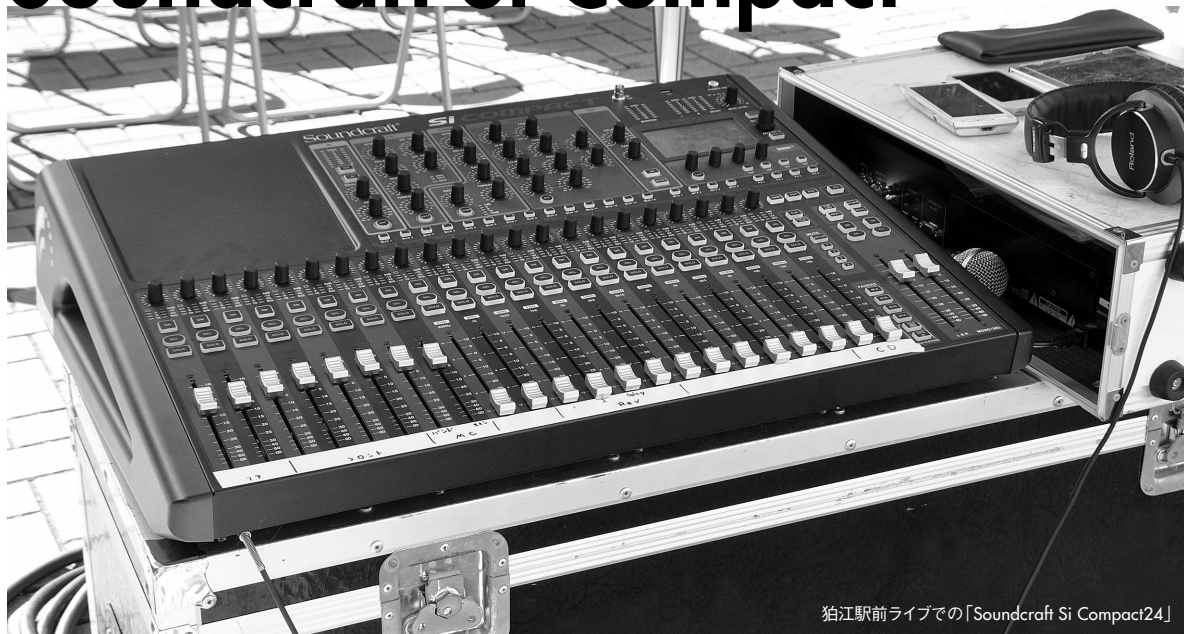
FAX03-5312-6988

[Http://rockdoor.co.jp](http://rockdoor.co.jp)

[info@rockdoor.co.jp](mailto:info@rockdoor.co.jp)

# 次世代のデジタル・ミキシング・コンソールとは…。 Soundcraft Si Compact

text by 博多智章(ロックドア)



狛江駅前ライブでの「Soundcraft Si Compact24」

Soundcraftより発売されたコンパクト・デジタル・ミキシング・コンソール「Si Compact」。一番競争が激しいと思われるこのクラスに登場したSoundcraftからの答えは如何なるものか？ここでは実際にコンサートに使った感想をレポートしたい。

今回使ったのは、「Si Compact」の中で、真ん中の「Si Compact24」である。第一印象は、デジタルミキサーにしてはモニター画面が小さいなと心配になったのだが、使い込んでいくと、なるほどね！という使い勝手の良さだった。

## 優れた操作性

「Si Compact」は、サーフェス上にオペレートに必要なつまみを備えているため、アナログミキサーを使用している感覚で素早く操作が行なえる。一方でチャンネル設定のコピー&ペーストや各設定のクリア機能などのデジタルならではの便利さも、もちろん兼ね備えている。

また、グローバル・エンコーダーと呼

ばれるフェーダーの上部にあるつまみをボタンひとつでGAIN、FILT (Filter)、PANと変化させることができ、各チャンネルのパラメーターを一括で確認、操作することが可能である。これは時間の無いリハーサルの時などに便利で、急いでHAのレベルを決める時など非常にありがたい。

もうひとつ目を引いた機能はFader Glow機能である。フェーダー内部にLEDが組み込まれており、割り当てられた機能ごとにLEDの色が変化するため、フェーダーの役割を瞬時に判断でき、オペレート中の操作ミスを格段に減らすことが可能になった。このLEDの照度を落とすことはタッチパネルのPreferen-

ceボタンで簡単に変更でき、芝居などバックライトの明るさを気にするイベントでも安心して持ち込める。

アナログ出力は、LCRを含めて16個備えており、複雑なSR現場にも対応することができる。

ミキサーの拡張性に関しては、「Si Series」用のオプションカード(MADI、AES/EBU、A-NET※、Cobra NET※)が1枚装着可能でMADI接続カードを介して増設用ステージボックスも用意されている。

## 注目される音質

Soundcraftのサウンドは継承している。HAがしっかりしているのか、音に芯



Si Compact24のリア 拡張スロットを装備しており、MADI、AES/EBU、A-NET※、Cobra NET※にも対応できる。※近日発売予定



狛江駅前ライブ「めいとろ(明治大学交響楽団トロンボーンアンサンブル&OB)」のライブ・ステージ



サウンドエンジニアとして、コンサート、イベント等に幅広く活躍している博多智章氏(ロックドア)

があり押し出し感がある。コンプレッサーやGEQに関してはアナログに近く、変な鋭さは無く設定に対して素直な感じがした。ミックスした時も各パートの輪郭がぼやけず、必要以上にEQで処理しなくてよかった。

また、Lexiconのエフェクターが4系統搭載されていて、質の高いリヴァーブを使用することができる。

## ソロシステム

今回使った中で最も重宝したポイントはソロシステムだった。オートソロシステムが搭載されており、実行している状態によりソロシステムが変化していく。

- 入力ソロが1系統:プリフェーダー
- 入力ソロが2系統以上:ポストフェーダー
- 出力がアクティブ:ポストフェーダーという具合である。また、2つ以上のソロが有効な場合で1つのソロボタンを長押しすると、そのチャンネル以外の信号を減衰し、音を強調する機能までである。単体で音をじっくり創りたい時はプリフェーダーになり、複数のチャンネルでバランスを確認したい際にはオートでポストフェーダーとなる。

また、各BUSに音を送る際にはBUSスイッチやFXスイッチを押すだけでヘッドフォンにその音が返ってくる。この機能も、便利な上に誤操作を減らす上でひと役買ってくれそうである。

さらに、ヘッドフォンにもディレイを掛

けることができ、メインスピーカーとのズレを改善することも可能だ。

## 実際にコンサートで使用

さて、今回この「Si Compact」を使って狛江の駅前ライブを行なった。出演者は「めいとろ(明治大学交響楽団トロンボーンアンサンブル&OB)」。トロンボーンだけで最大26人ほどになり、クラシックからポップスまで幅広いジャンルの音楽を演奏されていた。

インプットは、フロントのコンデンサーマイク×4本とオーバーヘッドのコンデンサーマイク×2本で、全体を集音という形で行なった。

音は非常に良い! すべてのマイクがオフマイクだったので、ぼやけるかな? と心配したのだが、しっかり芯のある音が拾うことができた。オーバーヘッドに立てたマイクは、かなり風が出てきて吹かれていたのだが、これもローカットで解決。

Lexiconのリヴァーブも大活躍で、指向性の強いトロンボーンの演奏に対し、自然なりヴァーブを加えてくれた。ディレイに関してはTAPボタンが4系統分出ているので、素早く対応できる。

オペレートもミキサーのサーフェス上につまみが集結されていて、画面に縛られることもなく、各パラメーターを開いてからダイヤルを回すということから開放され、ステージに集中してミックスすることができた。

## 最後に

さすがミキシング・コンソールの老舗、Soundcraftが出したコンパクトミキサーだけあり、オペレーターのことを理解しているな、と感じた。この大きさでこの音質、現場に持っていきのが楽しみになる1台である。

## Soundcraft Si Compact Series

問合せ: ヒビノ(株)  
ヒビノプロオーディオセールスDiv.  
<http://www.hibino.co.jp/>  
TEL: 03-5783-3110



**Si Compact24**  
24フェーダー、24マイク入力、2ヘアステレオ入力、1ヘアデジタル入力、4ヘアインサート、14AUX、4マトリクス、4FXステレオ、W716×H163×D520mm、15.5kg、756,000円(税込)  
Si Compact Seriesには、「Si Compact32」32フェーダー、924,000円(税込)と、「Si Compact16」16フェーダー、577,500円(税込)がラインナップされている